



包括ケア会議だより

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

寒暖差の多い時期となっておりますので、体調に気をつけてお過ごしください。

さて、個別事例検討会議を5月に開催し、「自己中心的な言動あり周囲への影響が懸念される方」について話し合いました。本人に関わるケアマネジャー、ケースワーカー、社会福祉協議会等が参加しました。

☆自己中心的な言動あり周囲への影響が懸念される方について検討

本人は、賃貸アパートに1人で生活しています。脳梗塞の後遺症により、引きずり歩行になっています。また、認知機能が低下していることから、誤った解釈で行動することが多い状況です。そのため、在宅生活は難しく、本人も施設入所を希望しています。

入所するには禁煙・禁酒が必要となり、本人もタバコとお酒をやめると言っていますが、やめられません。施設入所をした場合に、ルールを守った生活ができるか課題として挙がりました。

参加者からは、本人の疾病と生活状況を考

慮すると、自由は制限されるが、施設入所のほうが健康が守られるのではないかと意見が出ました。金銭管理の支援が介入してからは、タバコとお酒の消費量が減少しています。「ダメなことはダメと伝えることで本人は受け入れることができるのではないか」との意見があり、入所の方針となりました。

今後は、本人と関係者で入所先を検討し、アパートの退去について話し合いを行うこととなりました。また、ご家族は関わりを拒否していることから、進捗は決定した内容の報告のみを行うことにしました。

R7.11月の検討事例の経過報告

★「独居でアルコールを飲んで転倒を繰り返し、サービス担当者を苦慮させる利用者への支援について」
転倒してケガをしたことにより、救急搬送され、入院となりました。
現在も入院中であり、今後は本人の意思や状態を確認しながら入所の方向で進めていく予定です。

検討事例募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡よろしくお願いたします。

